研究日誌

—平成五年度　㈳北海道地域農業研究所事業のあらましについて—

㈳北海道地域農業研究所は、去る五月二十七日、午後一時三十分より共済ビル七階において、第三回（平成五年度）通常総会を開催し、今年の事業及び予算、役員の選任等の全議案について可決承認を得ました。今回はその概要について、お知らせします。

会員の状況について

平成五年度は、この研究所が設立されてから満三年になります。その間、関係者の理解と支援によって、会員数は正会員三二九、賛助会員五〇、合計三七九会員（平成五年三月三十一日現在）となりました。今年は、更に三〇会員以上の新規加入をめざして努力します。

役員体制について

今年は、研究所の役員として、ご協力をいただいている北農各連合会の役員の改選期にあたり、多数の役員が改選されました。また、人事異動により転出された方もあり、あわせて七人の役員が辞任されました。これにともなう補欠選任等は定款及び役員選任規定にもとづいて、過日の総会において議決されました。

新役員の方々は次のとおりです。

阿部忠男（北農中央会副会長）田島源一（ホクレン副会長）森田芳雄（北海道共済連副会長）武田弘道（北海道厚生連副会長）塩沢照俊（拓大道短大教授）堀二郎（農林漁業金融公庫北海道支店長）外崎之啓（農林中金札幌支店長）以上理事、坂本和夫（北農中央会代表監事）以上監事。

なお今回、創立以来、副理事長、研究所長として研究所の基盤づくりにご甚力をいただいた千葉燎郎さんが退任されました。千葉さんには研究所の顧問として、今後もご支援をいただくことになっておりますが、ひとまず東京にお帰りになりました。ますますのご健勝をお祈りいたします。

自主研究（独自研究）について

この自主研究は、会員のニーズをふまえつつ、当面する、また今後予想される農業基本問題について実践的、応用的な視点で取組む調査研究であり、研究所の事業の柱であります。

㈠　**生産構造問題、農協問題について**　今年は、平成三年～四年と二ヵ年にわたり研究を重ねてきた、研究会のとりまとめを行います。また、継続して研究を必要とする課題については、引続き取組みたいと考えております。

㈡　**流通・消費に関する研究について**　野菜、花きの輸送、貯蔵、鮮度保持、市場機構の解明等広範な分野にわたり調査研究を進めております。この研究は、道立中央農試と二ヵ年にわたり共同研究体制で取組んでおります。

㈢　**農村の生活・文化・環境整備に関する研究について**　極めて領域が広く課題設定をどうするかが大きな問題であります。その中で、今年は、平成四年事業で策定した「生活総合センター構想」の推進条件整備をはかるため、関係先に働きかけたいと考えております。

㈣　**農業情報に関する研究について**　近年は、市町村の段階で各種情報の収集と提供に関心が高まっています。特に農村では農業関連の気象、技術、農産物価格、市場流通等、じん速にして、きめ細い情報をもとめる声が強くでております。研究所としては、これらのニーズの動向をさぐり、必要な対応につとめるとともに、全国農協中央会の奨励研究事業である「地域農業技術センターの役割と機能強化に関する研究」をまとめることとしております。

受託研究への取り組みについて

受託研究は、研究所事業の柱のひとつであります。調査研究の方法として、委託者と研究所が共同、分担して取組む場合と、主として研究所が中心になって研究する場合があり

ますが、そのどちらの方法によるかは事業の内容によりきまります。今年は、現在までに次の委託を受けております。

平成四年からの継続事業

(一) 美深町農業振興計画の策定
(二) 白糠町農協農業振興計画に係る基礎調査
(三) コープさっぽろ「卸売市場の価格形成と消費動向」

平成五年度新規に受託した事業

(一) 知内町農業発展ビジョン策定に係る基礎調査（知内町より委託）
(二) 追分町農業振興計画の策定（追分町より委託）
(三) 生田原町農協農業振興計画の策定（生田原町農協より委託）

なお、公的機関、農業団体からの委託研究は、別に予定されておりますが省略いたします。

提案研究企画について

農業問題には、地域や経営形態、規模等に共通する問題があります。その中には構造的に原因がある場合や、政策の影響によるものが多くあります。このような問題に対する研究は広範囲の分野で、専門的知識、経験が必要となるため、それに係る機関や団体に研究所が提案し協力して取組むこととしております。

平成四年～五年と二ヵ年事業で取組んでいる「鮮度保持を要する北海道農産物の低コスト物流システム確立」は、この考えに基づいて、道、道立中央農試と研究所の共同提案研究として位置づけております。

また、今年は、農家経済の安定・確立対策について、関係機関と協議し、調査研究の糸口を見出したいと考えております。

研修会、研究会の開催について

研修会は、前年に引続いて地域農業振興についての基本的な考え方、策定の方法等をとりあげ、市町村、農協段階の人材養成をはかりたいと考えております。開催回数は一回、時期・場所など要領については、後日ご連絡いたします。

会報・年報・論文集の発行について

会報「地域と農業」は年四回発行します。年報はその年の調査研究等の概要について報告することとしており、通常総会開催時に配布します。また、自主研究をまとめた「地域農業研究」は秋期には発行する予定で取進めております。

そのほか、関係機関や団体が作成、発行した資料を収集し、必要に応じて紹介いたします。

研修会・講習会への講師あっせん、派遣について

会員の要請にできるだけ応えてまいります。

DATA FILE

関連事項／DATA

奈良教育大学
〒630　奈良県奈良市高畑町
☎0742（27）9111

福岡市立金武中学校
〒811-11　福岡市早良区四箇３丁目１番３号
☎092（811）1318

新潟市立南中野山小学校
〒950　新潟市中野山863番地の1
☎025（276）1753

富山大学経済学部
〒930　富山市五福3190
☎0764（41）1271

北海道教育大学札幌校地理学研究室
〒002　札幌市北区あいの里５条３丁目１番３号
☎011（778）8811

名寄市学校給食センター
〒096　名寄市字大橋54番地６
☎01654（２）4307

北海道大学教育学部
〒060　札幌市北区北11条西７丁目
☎011（716）2111

中野区立中野第８中学校
〒165　東京都中野区鷺宮４丁目７番３
☎03（330）7571